

# 借金返済よりも やめる方法知りたい

## 8割が「相談初めて」

ばちんこ依存問題解決の支援を行うリカバリーサポート・ネットワーク(RSN、西村直之代表)は、2006年度・2007年度の電話相談事業をまとめた。06年度、07年度で、全国から寄せられた電話件数は1835件(間違い・無言電話141件を含む)。相談内容は「やめる方法」「やめさせる方法」が圧倒的に多かった。

### 相談機関サービス 必要性を示唆

RSNでは、2006年4月から電話相談事業を開始。2006年度は989件、2007年度は846件と合計で1835件の電話相談が寄せられた。地域別で見ると、06、07年度トータルで最も相談件数が多かったのは沖縄(163件)で、次いで大阪(151件)、東京(109件)、神奈川(106件)と続く。メデ

イアで電話相談事業を取り上げられた地域や店舗内でのポスター掲示に積極的な店舗が多い地域からの相談が上位を占めた。

電話をかけてきた人の割合は、依存問題を抱える「本人」からの電話と、「家族・友人」からの電話がほぼ同数。対象者の男女比は、男性が約77%、女性が約23%だった。電話をかけてきた人と対象者は、30代が最も多い。もっとも、10代から90代と広い年齢層

に分布しており、いずれの世代でも依存問題が起こりうる可能性を示唆した。

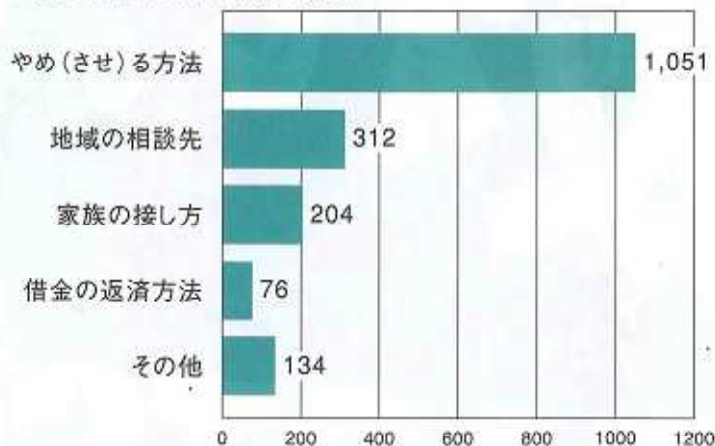
RSNに電話する前に、どこかの相談機関に電話をした人は約2割で、8割近く(間違い・無言を含む)は相談機関への電話経験が無い。受けた電話では、21%が話しただけで終了し、71%は他の相談機関を紹介している(間違い・無言8%)。相談者の希望がはっきりしなかったり、相談内容に合う相談機関が電話をかけてきた人の居住地域になかったりと、十分な対応ができないまま終了してしまうこともあった。

### 4人に1人が 10年以上問題持続

対象者の約55%は借金を抱えている。借金を繰り返す人から、数万円カードローンでキャッシングしている人までさまざま。相談内容は、やめる方法、やめさせる方法が圧倒的に多い。借金の返済方法よりも、どうやったらバチンコに行かずにいられるかといった相談内容がほとんどで、「やめられないので、地元で相談できる場所を教えてください」のめり込んでいる家族の対応に困っている。

10年以上長期的に問題化しているケースは、男女比で比較すると男性では30%、女性では19%、全体では約26%を占めた。一旦依存問題が生じると、長期に渡り問題が持続する危険性があることが示された。問題を持つ本人がホテル内ポスター経由で相談につながった件数は、1835件中388件となった。

■ 相談内容/知りたい内容  
2006年度、2007年度の統計



電話相談 ☎050-3541-6420

常時3名の相談員で対応。受付は平日(月~金)の午前10時から午後4時まで。

### 「ギャンブル問題への理解と対応を学ぶ」講座

サンセット美浜(沖縄県)で6月29日開催。講師にワンダーポートの中村努氏ら。事前予約が必要で、参加費は7000円。問い合わせは、☎098-871-9671